

新潟精神科リハビリテーション研究会 特別講演会 ～医師中村哲の生き方を通して改めて地域精神医療を考える～

日時 2024年3月10日(日) 14:00～16:30 (受付13:30～)

会場 新潟市総合福祉会館 5階 大集会室
(新潟市中央区八千代1-3-1)

プログラム

14:00 開会

14:05～15:35

特別講演 「医師 中村哲を語る」

講師：村上 優氏
座長：後藤 雅博

15:50～16:20

鼎談 「精神科医療を語る」

村上 優 (さいがた医療センター)
松田ひろし (柏崎厚生病院)
後藤 雅博 (こころのクリニック ウィズ)



中村 哲氏

福岡県出身。九州大学医学部卒業。国内の病院勤務を経て、1984年パキスタン・ペシャワールの病院に赴任し、治療を開始。その傍ら難民キャンプで一般診療に携わる。1989年よりアフガニスタン国内へ活動を広げ、山岳部医療過疎地でハンセン病や結核など貧困層に多い疾患の診療を開始。2000年から干ばつが厳しくなったアフガニスタンで飲料水・灌漑用井戸事業を始め、2003年から農村復興のため大がかりな水利事業に携わってきた。2019年12月4日、車で移動中に武装グループの銃撃を受け、志半ばで他界。その後もアフガニスタンの人々は同氏の行動と事業を継続。活動を支えてきたペシャワール会も活動を続けており、発足から40年を迎えた。

【村上氏経歴】

大阪府出身。九州大学医学部卒業。精神科医として国立肥前療養所(現国立病院機構肥前精神医療センター)をはじめ、各地の国立病院を経て、現在はさいがた医療センターに勤務。1992年よりペシャワール会の事務局長、副会長を務め、2015年同会会長に就任。中村哲医師の跡を継ぎ、2019年12月よりPMS総院長に就任、ペシャワール会会長を兼任する。中村哲医師との公私にわたる交友は46年におよび、会発足当初から一貫して活動を支えている。
*PMS:ピースジャパンメディカルサービス(平和医療団・日本) / 中村哲医師によって創設されたアフガニスタン現地事業体

16:30 閉会

参加費 会員：1,000円
非会員：2,000円 (※当日入会の場合は、会員参加費の扱いとなります)
当事者・家族：1,000円 (※当事者の方は手帳などをお持ちください)
学生：1,000円 (※有職者除く / 学生証をお持ちください)

定員 50名(要事前申し込み)

※定員に達し次第締め切ります / 定員超過の場合のみご連絡いたします

お申込み
お問い合わせ

MAIL shinseirihakenn@gmail.com

FAX 025-255-3532

お申込みの詳細は裏面をご確認ください